



< 陶土 >

セラミド CERAMI-DO

低温でも高温でも焼成できる

低温で焼成できる陶土

天然の土を使用し、急熱・急冷に耐え、すぐれた彫塑性と粘性を兼ねそなえた画期的な陶芸用粘土です。

特長

- 焼成温度が幅広く、温度ごとに焼き上がりの色が明るいレンガ色(900℃) からチョコレート色(1100℃)まで自由に選択できます。
- 温度調節の難しい野焼きにも適しています。
- かたまりや、肉厚の差が大きい作品をつくっても割れが少ないです。
- 自然乾燥のままでも強度があり作品として楽しめます。



700g

コード：101115 学納価 ¥330 (本体価 ¥300)

■野焼きとは(作品制作～土器焼きまで)



ねんどで作った器を屋外で焼く方法を野焼きといいます。博物館や、民族資料館等に展示してある縄文土器はこの野焼きで焼いたものです。野焼きは、作業の中で様々な学習を体験することができ、卒業制作、学校行事、また総合学習として全国の小学校に広がっています。野焼きの奥の深さは、造形美術、社会歴史、理科科学、家庭学習にいたるまでを一つの流れの中で勉強できる点にあり、子供たちにとってこの体験は、生涯を通して忘れることのない貴重な体験となることでしょう。

■電気窯での作品づくり



1

〈成形〉……………90分

- 粘土同士の接着には、どべ(粘土を水でやわらかく練ったもの)を使ってください。



2

〈乾燥〉……………10～14日

- 乾燥には2週間程度必要です。(直射日光にあてる場合は、陰干しを2～3日した後にしてください。)
- 作品の壊れ、ヒビ割れはセラミドで補修します。



3

〈絵付け・釉かけ〉……………90分

- 着色したい場合は、別途に陶芸用の釉薬などを使用して彩色してください。(底の部分には塗らないでください。)



4

〈窯づめ・焼成・窯出し〉……………1日

- 作品どうしが触れないように、窯詰めします。
- 上フタを少し開け、200℃から300℃位に温度が上がったらフタを閉めて、そのまま焼成を続けます。



5

- 950℃に達したら熱源を切り、自然に冷まします。



6

- 完全に冷めたら、手袋をして作品を取り出します。



①土器づくり

▼セラミドを4個使って、縄文土器をつくります。



②作品の乾燥

▼作品は1ヶ月以上、しっかりと自然乾燥させます。



③土器焼き

▼野焼きで土器を焼成します。運搬用パレットや角材などの廃材を使って火をおこします。



④鎮火・取り出し

完全に鎮火してから、土器を取り出して冷ましたら完成です。

※野焼きを行う際は、あらかじめ消防署への届け出や、近隣の方々への連絡が必要となります。

PADICO 株式会社パジコ

商品センター 〒412-0047 静岡県御殿場市市場673-3

0120-296-845 <http://www.padico.co.jp>

■代理店